

2024年度 後期公開講座科目

公開講座名(本学科目名称)		担当講師		授業形態	開講期	曜日	時限	授業内容
ケースワークの基礎	(ソーシャルワーク論Ⅱ)	ルーテル学院大学准教授	浅野 貴博	全 面 対 面	後期	火	1, 2限日程: 9/24、10/15・ 29、11/19、 12/3・17、1/14	個人や家族への援助について講義と演習を通して学びます。相談援助のための基礎的な面接技術や展開過程などを学びます。
家庭生活と法	(権利擁護を支える法制度)	ルーテル学院大学名誉教授	金子 和夫		後期	火	3	少子高齢社会における夫婦関係、親子関係、扶養、相続、成年後見制度など家庭生活における法律問題について、その実態を新聞などの資料で確認しながら、内容を理解し課題を考えます。
地域福祉の推進方法と災害と地域福祉	(地域福祉論Ⅱ)	ルーテル学院大学名誉教授	市川 一宏		後期	火	4	今日、地域支援に関わるソーシャルワーカーが配置されています。本授業では、その援助を支えるために、専門性、ニーズ把握の方法、計画化、社会資源の活用・調整・開発、サービス評価と質の確保、災害と地域福祉について具体的に学びます。
精神保健の基礎知識	(精神保健)	ルーテル学院大学准教授	廣瀬 圭子		後期	火	4	現代の社会は、ストレス社会もいわれ、日々の生活において精神保健上の健康を保つことは容易ではありません。この講座では、精神保健に関する簡易的なセルフチェック法や基礎知識を学びます。
保健医療サービス	(保健医療サービス)	ルーテル学院大学准教授	廣瀬 圭子		後期	水	1	医療分野で活躍するソーシャルワーカーに必須の福祉に関連する公的サービスや制度など、保健医療分野の基礎知識を解説します。社会福祉士や精神保健福祉士など福祉の資格に興味がある方向けです。
高齢者福祉論	(高齢者福祉論)	ルーテル学院大学教授	山口 麻衣		後期	水	1	介護保険、保健、医療、住宅、経済保障、就労、社会参加、生涯学習等の施策や実践を総合的に学習し、高齢者福祉施策や実践の現状と課題、そして将来のあり方を学びます。
カウンセリング実技の基本	(カウンセリング実技の基本)	ルーテル学院大学教授	植松 晃子		後期	水	3	カウンセリングがどのような支援なのか、どのような専門的態度や技術が求められるのか、理論と体験学習から学びます。体験学習としては、カウンセラーと来談者役のロールプレイやグループディスカッションを行います。
文化人類学	(文化人類学)	ルーテル学院大学准教授	上村 敏文		後期	水	3	人類発祥の地としての東アフリカから、いわゆるグレートジャーニーにおいて、日本への「旅路」の痕跡を探訪します。今年は、台湾の少数民族についてその宗教の変遷などを現地調査を踏まえて紹介してゆきます。
難民・移民の福祉	(多文化ソーシャルワーク)	ルーテル学院大学教授	原島 博		後期	水	3	グローバル化の時代を迎え、国境を越えて人々が移動する時代となった。主に、来日する移民や難民の課題と支援のあり方について学びます。
年金・医療・介護	(社会保障論Ⅱ)	ルーテル学院大学名誉教授	金子 和夫		後期	水	4	急速な少子・高齢社会の進展に伴い、年金・医療・介護保険は数年ごとに大きな改正が実施されており、その内容と課題を考えます。

グループワークの基礎と実際	(ソーシャルワーク論Ⅲ)	ルーテル学院大学准教授 大曲 睦恵
発達心理学	(発達心理学)	ルーテル学院大学准教授 石川 与志也
障害者福祉論	(障害者福祉論)	ルーテル学院大学教授 高山 由美子
更生保護制度論 (刑事司法と福祉)	(更生保護制度論)	ルーテル学院大学名誉教授 西原 雄次郎
現代スピリチュアルケア序論	(現代スピリチュアルケア序論)	ルーテル学院大学学長 石居 基夫
精神分析学	(精神分析学)	ルーテル学院大学准教授 石川 与志也
社会福祉分野での心理支援	(福祉心理学)	ルーテル学院大学教授 加藤 純
福祉サービスの組織と経営	(福祉サービスの組織と経営)	ルーテル学院大学教授 山口 麻衣

授 業

後期	木	1	グループワークの理論や実際の場面について、演習等を通して理解を深めます。後半はスーパービジョンやコンサルテーション、コミュニティワークをテーマにしたグループワークも行います。
後期	木	2	生涯発達の観点から発達心理学の基本概念や理論について学びます。発達障害等の非定型発達についても取り上げます。臨床現場や生活場面における発達に関わる現象をどのように理解することができるのかを考えます。
後期	木	2	障がい福祉の理念・歴史をふまえ、障がい児・障がい者福祉に関する法制度と実践の現状を学び、今日的課題について共に考えていきます。
後期	木	2	明治期から多くの先人たちが切り開いてきた「更生保護」の取り組みは、罪を犯した人たちが、犯罪を繰り返すことなく、社会の一員として生きていけるよう支援する実践であった。現在では、必要に応じて、捜査、裁判、更生保護、被害者支援等々の刑事司法全般にわたって、福祉と連携しつつ運用されている。これらの歴史的経緯から始
後期	木	3	20世紀後半に始まるホスピス運動の流れの中で見出されてきた「スピリチュアルケア」について、人間論、また死生学的な学びと合わせて、その理論と実際について概論的に学ぶ。
後期	木	4	フロイトの人生とフロイトの創始した精神分析について、そして精神分析の現代的な展開についての入門的な学びを行います。人間のこころ、自分のこころの不可思議さに対する好奇心のある方は誰でも歓迎いたします。
後期	金	2	子ども虐待や養育困難などを題材に、社会福祉施設や相談機関での心理職の専門性を学びます。生活課題に着目し家族を支援する方法と理論を紹介します。
後期	金	2	福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論を学び、福祉サービスに係る多様な組織や団体の経営や連携について理解を深めます。